

平成30年度いばらきっ子郷土検定問題 解答と解説

守谷市 解説

組	番	氏名	
---	---	----	--

番号	解 説	答
1	水(Mizu)と緑(Midori)のまち、守谷(Moriya)の3つを意味するイニシャルMをモチーフに、未来に羽ばたく姿をイメージしたもので、小さな円は太陽をイメージし、輝きと活力を表します。 	2
2	ハンドボール競技は、守谷市・常総市・坂東市の共同開催となります。	4
3	守谷市の木に制定されている木は、「松」です。松は、枯れ落ちても二つの針葉が固く結びついています。これは夫婦の相和するのに似て、人生における幸福の基本を表し、市の発展を約束しているようです。	2
4	守谷市の鳥に制定されている鳥は、「小綬鶏(こじゆけい)」です。朝夕、雛(ひな)を連れて集う姿は、家族仲良く一家が繁栄するようです。また、将来守谷市が住宅団地等によって、10万都市を形成するのに似ています。	1
5	守谷市の花に制定されている花は、「ヤマユリ」です。山里に、また深山に白く咲く姿は、清楚で柔軟ななかにも、凜然とした感じがあります。また、芳しい香りを漂わせて、まさに、自主・自立の高貴な人のようです。	3
6	妙見八幡社(みょうけんはちまんしゃ)が守谷城中よりうつされたといわれています。西林寺と親しかった小林一茶が詠(よ)んだ俳句の中に、平将門に関するものがあります。「梅さくや平親王の御月夜」(我春集 文化8年)「蚊の声や将門殿の隠し水」(七番日記 文化7年)	4
7	守谷市の面積は35.71平方キロメートルで、県内では最も面積の小さい市です。東西7.5平方キロメートル、南北7.2平方キロメートルと円を描くような形になっており、市域の大半が常総台地に属し、海拔平均20メートルの台地が広がっています。	2
8	赤法花の一里塚は、江戸時代に笠間に通じる街道(笠間街道)の一里塚として設置されていました。	3
9	「モコバス(Moco-Bus)」は、守谷市が運営するコミュニティバスです。「モコバス」の名称は「守谷コミュニティバス」を略したもので、「もりや」の「モ」と「コミュニティ」の「コ」を合わせて名付けられました。	2
10	7月に行われる「八坂神社例大祭」は、江戸時代から始まった「守谷総地鎮八坂神社」の祭礼で、夜店が神社前の旧道に広がり山車が出るなど守谷で最も規模の大きな祭です。	3
11	夏の土曜日の夕方、市庁舎の中庭を会場に「市民参加型のコンサート」を毎年実施。各回の最終プログラムとしてプロの音楽家を招き、サークルの発表だけでなく本格的な音楽に触れる機会を市民に提供している。アマチュア(市民サークル)とプロが同じ舞台上で演奏する「タペのコンサート」は数が少なく、守谷市の夏のイベントとして定着している。	1
12	マインブルク市では、ビールの原料となるホップ栽培が盛んで品質は世界一と言われ、守谷市にあるアサヒビール株式会社茨城工場でも使用されています。	4
13	守谷市民交流館(愛称:モリヤガール)は、展示や個展などの芸術・文化的活動や会議・ミーティングなどの市民相互の交流のための拠点として利用できる施設で、平成30年(2018年)4月1日(日曜)からオープンとなりました。	4
14	「守谷らしさ・親しみやすさ」を選考基準とし、平成5年に中央図書館のマークとして決定されました。開いた本をモチーフにMと顔を感じさせ、堅苦しいイメージよりも親しみも持てる図書館をイメージし、作成されました。	2
15	正解は、「富士登山」。毎年約100名の守谷市内在住の中学生が参加している、市の歴史あるイベントとなっております。今年も7/30～31に実施いたしました。	3
16	「Morinfo(もりんふお)」にはプッシュ通知や市民レポート投稿といった機能があり、守谷市で暮らしている方たちの協働のまちづくりを推進します。また、アプリのアイコンデザインは、守谷市のMを使い、子どもや大人に守谷市に親しみを持ってもらいたいとネコのキャラクターをイメージして作成されました。	1
17	2018年(平成30年)6月1日現在、守谷市の人口は、67,260人で約67,000人です。男女比では、男33,808人 女33,452人です。	4
18	1975年(昭和50年)の夏、高野の仲坪地区にある不動王の石碑に「人の顔が映っている」として、大変な騒ぎになったことがありました。それから、近所の人たちが次々に見に行くようになり、髪の毛の長い女性が見えたり、老人の顔だと言う人も出てきたそうです。噂が噂を呼び、新聞や週刊誌、テレビのワイドショーでも毎日のように「高野のお化け石」として報道され、大勢の見物客が押し寄せました。しかし、だれかがスプレーで落書きすると、それ以来顔は見えなくなってしまったそうです。	2
19	永泉寺に安置されている聖徳太子立像は、鎌倉時代末から南北朝時代(14世紀)にかけての製作ではないかと推測されています。	3
20	自動車のレース競技・ジムカーナで前人未到の100勝を達成された山野 哲也(やまの てつや)さんは、18年ほど前、かつて住んでいた街並みに守谷市が似ていると感じたこともあって、守谷市に転入されました。	1
21	1615年、徳川家康が守谷の地を訪れた際、大雨で利根川が洪水となり船を渡すのが困難な状態でした。その時、家康は船頭に対しガマンして渡してくれと頼んで川を渡ったので、以来、この渡しを「がまんの渡し」と呼ぶようになった。	2
22	正解は、「きらめき」。市内小中学校と守谷高等学校生徒会が連携して取り組んできました。毎年、新たなテーマを設定し、小中学校の代表者が各校の取組を発表したり、市としての共同スローガンや宣言を採択したりしてきました。	4
23	「シティブランド・ランキング ―住みよい街2017―」は、全国の市および東京23区のうち「実際に住んでいる街」、「過去5年以内の直近で住んでいた街」について、住みよさをビジネスパーソン(有職者)に調査しました。「安心・安全」、「快適な暮らし」、「生活の利便性」、「生活インフラ」、「医療・介護」、「子育て」、「自治体の運営」、「街の活力」という8分野32の評価項目から調査・集計し、ランキングが作成され、東京都武蔵野市、福岡県大野城市と並んで第一位となりました。	1
24	子どもたちが家々を訪ねて集めたしめ縄やだるま、護符(ごふ)や幣束(へいそく)、正月飾り等を燃やし、シノダケの先にモチを刺して、この火であぶって食べると風邪をひかないと言われています。「おわんどり」は毎年1月中に、守谷市の地区ごとに行われている行事です。全国各地では左義長(さぎちょう)やどんど焼きと呼ばれるものです。	3
25	正解は、「御所ヶ丘中学校」。長距離走が専門の陸上選手です。お父さんも陸上競技の選手でした。森田選手の夢は中学校の数学教師なので、青山学院大学では社会情報学部に通っています。	4